

まず初めに、「仁多米」が「ブランド化 10 周年」を迎えられ、このように記念式典が盛大に開かれますことに対し、心よりお祝いを申し上げます。この間の奥出雲町の生産農家の方々、そして岩田前町長、その後を継がれている井上町長以下の町当局、JA雲南の皆様など、関係の皆様方のご努力に深く敬意を表します。

また、仁多米の販売・ブランド化にご尽力をいただいた販売会社の皆様に、深く感謝を申し上げます。

さて、「仁多地域」は、中国山地の山々に囲まれた豊かな環境や、昼夜の温度差が大きいことなど、米づくりに適した自然条件に恵まれ、県内では古くからおいしい米の産地として知られてきました。

旧・仁多町と横田町では、この「仁多米」の価値を高めるために、平成 10 年に、集荷、品質管理、販売を一括して担う「奥出雲仁多米株式会社」を設立され、生産農家の皆さんや関係機関の方々と一体となってブランド化を図ってこられました。

その中では、地元のミネラル分を豊富に含んだ水と和牛による完熟堆肥を使い、化学肥料や農薬を減らした「こだわりの米作り」を進められました。

そしてその「こだわりのお米」を、最も良い状態でお客様に届けるため、籾の状態で保管し、販売直前に籾摺、精米して直送するなどの取り組みも行っていました。

こうした皆様のご努力の積み重ねにより、「仁多米」は今では、島根はもとより、国内有数のブランド米となりました。

現在は、首都圏の百貨店、高級スーパーなどで、一般的なお米より高価格で取り扱われていると伺っております。

先程、感謝状をお渡ししました中村成子様<sup>しげ</sup>には、消費者の皆様との交流や多くの著書による情報発信などを通じて、「仁多米」の全国ブランド化に大きくご貢献いただきました。改めて感謝を申し上げます。

島根県は豊かな自然に恵まれ、おいしい食材が各地で産出されておりますが、そのことが県外の方々には必ずしもよく伝わっていないところがあり、ブランド化は、県の大きな課題であります。

その意味で、仁多米の 10 年間のご努力は、このブランド化の模範となる取り組みであります。県としましては、引き続き、こうしたブランド化の取り組みを支援して参りたいと考えております。

本日お集まりの皆様方には、仁多米の生産・販売の拡大に一層のご尽力をお願いするとともに、奥出雲町の農林業の発展を祈念し、ご挨拶といたします。